

## 宮城県第二工業高校で「明るい未来へ TRY!」を 活用した授業を実施しました！

～自転車事故のリスクと損害保険の役割について学ぶ～

日本損害保険協会東北支部(委員長:鈴木 恵子・東京海上日動火災保険株式会社 常務執行役員)では、10月18日(金)に宮城県第二工業高等学校で、当協会の高校生向け金融教育教材「明るい未来へ TRY!～リスクと備え～」(※)を活用した授業を行いました。

同校で毎年開催している交通安全教室の一環で実施したもので、全校生徒約50名が出席しました。当日は、生徒指導部の五島先生から、同冊子および動画を用いて自転車利用にあたっての留意事項についての説明がなされ、続いて当支部の小田川SAAアドバイザーから、「自転車事故のリスクと損害保険の役割」について、クイズなども交えながら授業を行いました。

宮城県第二工業高等学校は、定時制高校として、日中に正社員やアルバイトとして勤務をしている生徒も多く通学しています。また、登下校の時間帯が夕方から夜間となること、バイクや自転車を利用する生徒も多いことから、交通事故のリスクも高く、生徒たちは真剣に話を聞いていました。

授業のあと、代表生徒から、「本日の話を踏まえ、一層交通安全を意識して登下校したい」との感想が出され、本授業を通じて、日常生活、特に交通事故におけるリスクについて認識してもらうとともに、事故リスクを踏まえた上で保険へ加入しておくことの大切さを認識してもらい、リスク教育を推進することができました。

当支部では、このような授業実践、講師派遣等を通じて、今後も高校生の損害保険リテラシーの向上に努めてまいります。

※明るい未来へ TRY!～リスクと備え～: <https://www.sonpo.or.jp/report/publish/education/0014.html>



五島先生からの説明



小田川SAAアドバイザー  
による講義